



チア・にっぽん CHEA Japan

NEWS LETTER 137号 2013年5月

〒189 0013
東京都東村山市榮町1-5-4-103
TEL 042・318・1807
FAX 03・6862・8648
<http://www.cheajapan.com>

「あなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

(ルカ 22:32)

ハレルヤ！ 新緑のさわやかな季節、5月ですね。いよいよ、コンベンション到来もあり、とても楽しみにしています。先月はチアの誕生月で、神さまのあわれみと皆さんのサポートの中で、その歩みも14年めになりました。今年のコンベンションも、神さまの喜ばれるコンベンションとなり、豊かに用いてもらえますように、ご参加とお祈りをよろしくお願ひします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

『聖書がわかる28の素敵なお話』 在庫切れ&追加手配中へ

まずは速報です。先月ご紹介しました『聖書がわかる28の素敵なお話』(50冊まで無料プレゼント)は、大好評！ 3日間で、チアで準備した分が在庫切れとなりました。その後、数日で、注文は約3000冊を超え、2度の追加分も無くなり、現在、3度目の追加準備中という、うれしい悲鳴です。用いられて、とても感謝です。現在、第2期分を準備中で、6月上旬発送予定です(コンベンション会場では、手渡せる予定です)。申込みは、まだ受け付けられると思いますので、お早めにお申込みください！(詳細は22ページ)。

強い目的入り「チアTシャツ」、完成しました！

先月ご報告しました、新しいチアTシャツも、コンベンションに間に合いそうです。今回の特徴は、チアの強い目的「魂の救い (Salvation)」「キリストの心を与える (Heart of Christ)」そして「伝道・世界宣教 (Mission)」をデザインに打ち出し、チャーチ&ホームスクーリングの強い目的を、着る度に意識できることです。ハリウッドでも人気のデザイナーズブランド、「バルナバズ」社長のアレックス・アクィーナさんのデザインです。どうぞお楽しみに！

肉離れ、ふたたび！ — ケガで教えられる、 チャーチ&ホームスクーリング ライフの秘訣

4月中旬、山岳マラソンの練習中に、アキレス腱の上とふくらはぎの中間をケガてしまいました。一週間休んで大丈夫と思って出走した4月下旬の10キロマラソンで、再発。足を引きずりつつ、ゴールを目指して歩き、途中、ホームスクーリングライフと苦難について、いくつか教えられた気がしたので、証ししますね。まずは前段として、今回の痛みのストーリーから、お伝えします。



チアの強い目的「魂の救い (Salvation)」「キリストの心を与える (Heart of Christ)」そして「伝道・世界宣教 (Mission)」入り！
(designed by Alex Aquino, BARNABAS)
詳細はwww.cheajapan.comへ

山岳マラソン — 山下りの落とし穴

4月中旬の早朝、5月5日の山岳トレイルマラソン(10キロ)をめざすトレーニングセッションに参加しました。その日の課題は、山岳コースを8キロ走ることで、60人あまりの参加者と出走しました。山岳マラソンは、平地よりずっと困難です。平地の10キロに慣れてしまった僕にはハードルが高く、ちょうどいいチャレンジコースに思いました。

8キロの山岳コース、山上りはきつく、長年、練習している他のランナーたちにはかなわず、どんどん抜かれました。でも折り返し後の山下りは、なぜ

かハイスピードで大丈夫で、抜こうと思ったわけではないのに、どんどん抜いて行けて、最後は2着になりました。一時は、最終的に1位になった人も抜き、ゴール後、「君はすごい。抜かれて、本気にさせられた。お陰で、燃やされたよ」と言われました。山上りで僕を抜いた、本気のランナーモードの女性ランナーも、追い越すつもりは無かったけど、追い越すことになり、ゴール後「すごい！ 私はケガする気がして、あんなにスピード出せないわ」と誉められました。果たして、彼女の誉めことばは、その後のケガへの警告ともなる、ちょっと預言的な誉めことばとなりました。

チャーチ&ホームスクーリングへの教訓1 「謙遜は栄誉に先立つ」(箴言18:12)

自信過剰、油断、高慢さというのは、神さまが忌み嫌うことだと思います。僕のマラソンの目的も動機も正しかったと思います。マラソンは、「天国に行く直前まで、現役で伝道しつつ、召されたい。そのための体力、精神力づくり」を目的としています。純粋に神さまを見上げて、喜んで、謙虚に走っているつもりでした。体調にリズムができる、心身共に好調で、仕事にも良い影響が出ていました。約6ヶ月、走行距離と記録がどんどん伸びて、体力も、甲子園めざして厳しいトレーニングに明け暮れた高校生時代とまではいかずとも、かなり戻りつつある気もしました。そして僕は、いつしか自分の実力を超えた自信と油断を持ってしまったようでした。無謀にならないように、慎重に、しっかりリサーチしながら、平地でのトレーニングをしてきましたが、山下りというところに落とし穴がありました。

チャーチ&ホームスクーリングライフも、神さまの恵みとあわれみで歩まされていることを何度も示されます。「人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ」(箴言18:12)。2回目の練習日のケガ以降、そのことをさらに強く示されることとなります。

快走後の突然の痛み

4月中旬、2回目の山岳トレーニングセッション。この日のクラスの課題は、初めて10キロの全コースを走ることで、タイム計測日でした。前週よりは山上りを早く走り続けられ、「先週より、強くなったー」とうれしくなりました。でも、やはりきつく、真剣に走っていた山岳マラソンのベテラン勢、15人ぐらいに抜かれたと思います。

でも、多くの人は、山頂の折り返し地点で給水しつつ休んでて、山下りに自信を持った僕は、水をちょっと飲んで、さっさか下り始めました。山岳マラソンの本を読んで、「山下りは、足へのダメージが相当大きい」「筋断裂を起こしやすい」と学んでいたので、「本番2週間前だし、先週よりもスピード落として走ろう」と注意して走っていたつもりでした。でも、スピードはどんどん増し、初のタイム計測も、

好記録が期待できました。手元のストップウォッチを見ると、1キロあたり、平均3分か、3分を切っている！ 400メートル走ぐらいのペースで、ずっと走っている感じです。下り急斜面の山道ですが、山火事用の消防車が通れるように広くしてあり、スピードを出して、どんどん走れるのです。しかもほとんど疲れません。「これって、オリンピックのトップ選手のスピードだ！」彼らは、このスピードで、平地を42キロ走るんだナー」。

そうしたハイスピードでの激走が4キロ続き、加減しながらですが、とても楽しいでした。山の美しさに育まれ、時にロサンゼルスの高層ビル街の遠望を眺めながら滑るように走り、そして、神さまに感謝し、賛美しました。

道ばたに、6マイル(9.6キロ)走ったとの表示板があり、残り400メートル。先週は、ここで疲れが出て、スピードダウンしたのでした。「今日は、ここでがんばろう！」と、ラストスパートに入ろうとしたら、突然、ふくらはぎの下が痛みました。「あれ？ もうすぐゴールなのに」と思い、痛かっただけ一生懸命走っていました。でも、30メートルしないうちに、走れない痛みになりました。少し歩いて走ったけど、最後は痛みがひどく、片足で走るくらいになりました。「せっかくここまで良いタイムで来たから」と、ゴールまでがんばってタイム計測を終了。これで足が大丈夫なら、本番は、もしかすると、コーチが「この山岳コースでの実力者ランナーたちの目標」と掲げていた1時間以内を達成できるかも……と思って、足を引きずりながらも楽しく帰りました。

回復の誤解

マッサージを良くしたら、痛みは日に日に無くなり、木曜ぐらいには軽くジョギングしても痛まなくなっていました。それでその週末、我が家から車で20分ぐらいのバルボア湖畔での10キロレースに向かいました。このレースは、5キロレースも含めて、2000人ぐらいが参加する「市民マラソン大会」といった感じで中規模だけど、和やかに、良く準備されたレースでした。このレースに出るか、もう1回、山岳マラソンの朝練セミナーもあったので、どちらに出るか迷い、家族と相談し、応援を得て、バルボア湖畔レースに出ることにしたのでした。

レースでリハビリというのは、ちょっと無謀とも思えますが、市民(公務員)ランナーで、今夏の世界選手権に選ばれた川内選手のように、「どっちみち練習で走るんだから、参加者や沿道の皆さんに応援されて走った方が楽しく走れる」との論理に僕も賛同していました。また、先月参加した初めての10キロマラソン(ハリウッド・マラソン)は、ノロウイルス明けで体調不十分でしたが、それでも目標を上回る53分でした。ゴール後も爽快で、あと10キロなら軽く走れる感じで、神さまを讃えました。それで、今回、体調が良ければ、もっとタイムを上げら

れるだろうし、また、「足を痛めた後でも大丈夫」との悪条件化での体験をしておきたい……等、メリットが考えられ、平安を持って臨んだのでした。

足は治りたてなので、レース前、1時間ぐらいかけてストレッチ等をし、十分、準備運動を心がけました。「今日はリハビリだから、特に最初はゆっくりいこう！」来週が山岳マラソンの本番だし。今日は、体があたたまつたら、スピード上げても大丈夫かな……」とゆっくりスタート。でも、山岳コースと違って、久々の平坦な道は、とても楽でした。1.6キロまで順調に走り、ゆっくりと思ったのに、たくさんの走者を抜くことになりました。

「(前号でお伝えした)おっと、聖句暗記をしなくては。『善悪を判断し……聞き分ける心をしもべに与えてください。……今、わたしはあなたの言ったとおりにする。見よ。わたしはあなたに知恵の心と判断する心とを与える(1列王記3:9-12)』。あー、しっかりとこれを信じてるか、やっぱり問われるなー。信じよう！」……と思った、その直後です。良い気持ちで走っていた2キロ付近で、先週と同じ痛みが、おもむろに再発。「あ、まだだ……」とショックを受けました。「この痛みが、神さまからの知恵なのかな……」と思ってしまいました。(しっかりと、信じよう！ 神さまが「知恵の心、判断する心を与える——」)と心で思った、あまりに、その直後だったので(^。^)。

前週の痛みで、最後にはまったく走れなくなってきたことを記憶していたので、今回は無理しないで、すぐに歩きました。棄権したかったけど、市レベルのマラソン大会で、途中、救護テントや救護車もないで、とりあえず歩いてゴールに戻るしかありません。「まさか、こんなレースになるなんて……」。予期せぬ出来事が起こる、ホームスクーリングライフの一コマと重なるなーと、心から思いました。

あの者が先になり、先の者があとになる

ケガする前、多分、30番ぐらいを走っていたようです。でも、いきなり600人ぐらいに抜かれることになりました。聖書で言う「あの者が先になり、先の者があとになる」(マタイ20:16) その世界です。

これまでの3回のレースは、皆、順調でした。3月初旬の人生初のマラソン大会(5キロ)。西海岸の時差を1時間調整する日でしたが、1時間、時計を間違えて、車の中で聖書を読んで待っていました。「40分前になった。そろそろ列に並んで、準備運動でもしながらスタートを待つか」と、スタート地点の後列に並びかけたら、「ォー」とラッパがなり、2000人が一斉に走り出しました。何だろう？ 40分前なのに……と思ったら、それが号砲で、僕も一番、後方から走ることになりました。みんなペースが速く、疲れて、「そろそろ、3キロ地点ぐらいかな……」と思ったら、看板があり、まだ「1.6キロ」とのこと。すごくがっかりし、一層、苦しくなりました。でも、それまでの約3ヶ月の練習成果が出て、その



チア・オリンピック、1500m走も、ランニングに目覚めるために、最適(^。^)!

後、段々、加速し、全体で174位、年齢別で10位入賞、気分は最高で、初マラソンでとても良いゴールが切れました。

翌週、人生2回目のロサンゼルスマラソン(5キロ)は、前回を2分あまりスピードアップでき、4000名中、151位、年齢別で10位の快走で、主を讃え、喜んで帰りました。3回目は、上記のとおり、数日前にノロウィルスになって病み上がりで、でも年齢別で6位入賞と好結果だったので、本当に上り調子の一直線でした。

ところが、今回は、棄権もできずに、足を引きずり、近道を探し、約6キロをようやく歩いてゴールインという、惨敗のレースです。「高慢は破滅に先立つ」、「後にいる者が先になり、先にいる者が後になる」という通り、やはり、謙遜であることが再度、示されるのでした。自分の懲らしめには、ちょうど良い、悲惨な状況です。

かなり後方を走っていた2人の女性が僕に追いつきました。1人が、走れなくなっていて、一緒に走ってる女性が「歩いちゃだめ。どんなにゆっくりでもいいから、走って！」と歩きかけた女性に声をかけ、歩いている僕を追い越しました。「良くない模範」というか、「まだ、自分より下もいる……」と、他のランナーたちを励ます存在になってる感じです。事情を知らない、でも優しい人々、何人かが、「がんばって！」「どうしたんだ。さ、走ろう！」と声をかけてくれます。でも、こういう時は、「そっとしておいて！」という気持ちにもなり、そんな複雑な心理も発見しました。

教訓2 「すべての営みには時がある」 (伝道者の書3:1)

「そっとしておいてほしい！」との体験で、励ますにも、励まされるにも、「時」があるなーと実感しました。また、相手の状況をよく理解して、励ます必要があると思いました。もちろん、励まそうと、あたたかく声をかけてくれた方の思いは、とても感謝でしたけれど。やはりこの点でも、「知恵の心」を

神さまに求め続け、賢明な助言者や励まし手となれるよう、祈り続けたいと思いました。神さまが準備した最善のタイミングで、最善の声がかけられるように。「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある」(伝道者の書3:1)ですね。

オーバートレーニング

痛みが再発したことは、すごくショックでした。でも、前週と2度、痛めたお陰で、いろんなことを学んだ気がします。「全て益と変えられる」(ローマ8:28)とのことで。

まず「ケガの時は走れない、がんばって走るべきじゃない……」と、はっきり悟りました。思ったことは、14年にわたってホームスクーリングの重責とまた、僕のパートナー役を24年も担ってくれている和紀子は、今、疲れてるだろうから、休みを与えて、気分転換してもらうようにしなきゃ……ということ。また、チアのメンバーの皆さんで、ぎりぎりでがんばっておられて、様々な困難に疲れている人々にも、休むように言わなきゃと思いました。

読んだ本、ほぼ全部に、オーバートレーニング(練習のしすぎ)に注意とありました。この半年、マラソン関係の本を15冊ぐらい読み、研究しながら練習を進めてました。名コーチ、医師、選手、海外のコーチ、研究者、マラソンジャーナリストほか、様々な角度から学習でき、とても参考になりました。聖書に、「熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつまずく」(箴言19:2)とあります。冷静に学び、備え、悔い改め、修正していくことの重要性と恵みを、チャーチ&ホームスクーリングの歩みで出版したり、コンベンションを企画し、学習しながら実感し、マラソンにも生かせました。

上記の通り、マラソン書籍等で皆が言っていることが、オーバートレーニングや、ケガした時に無理してこじらせる実例。マラソンを好きになるタイプの人は、真面目でがんばりすぎるタイプが多いので、特にケガした時は、気をつけて休むようにとのこと。これは、各チャーチ&ホームスクーラーの皆さんにも当てはまることだろうなーと思いました。

忍耐のしどろか、休むべきかの見極めどころ

難しいのは、マラソンもチャーチ&ホームスクーリングも、頭でわかっていても、「オーバートレーニング」の見極めが微妙というところです。実際、僕も気をつけてはいました。

最初、去年の12月頃は無理せず、「ニコニコ笑顔で走れるペースがいい」(医師&ランナー)「長い時間(Long)、ゆっくり(Slow)、長距離を走る(Distance)すなわちLSDを!」(実業団、オリンピック選手の監督)らの本のメッセージとなるほどと思い、ペースを考え、練習を重ねてきました。その一方で、「LSDだけでなく、ハイペース走も」(ニュージーランドの

伝説的な監督)、「筋肉を使わないと、そのレベルになる。でも、限界まで適度に正しく使うと、ヨウガス!と言って、そのレベルに合わせて強くなる」(作家でランナーの村上春樹さん)等のアドバイスもあるほどと思い、段々、強く走れるようになるにつれ、負荷を与え、タイムや距離を伸ばす方向に進んできました。

聖書も、主に立ち返り、委ねることを命じていると同時に、イエスさまに浸り、神さまの力を得てですが、全力で愛し、さらに上のレベルで行動することを命じているのと似ています。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたし(キリスト)のところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)、「主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる」(イザヤ55:7)、「あなたの道を主にゆだねよ。主が成し遂げてくださる」(詩篇37:5)、「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい」(申命記6:5)、「わたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい」(ルカ9:23)、「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走っているのです」(ピリピ3:14)

前回の4月のレースの後、毎日、深夜に15キロずつ、全力で4日連続で走り続けていました。前日を上回るように、精神的にも肉体的にも負荷を加え続けて。5日めは、休憩で8キロぐらいにしようかと思ったら、2キロ走ったところで、それ以上、続けて走れなくなっていました。ある本に、「歩いても練習になる」とあったので、ショックだったけど、必死に4キロほど歩いたり、走ったりしていて、最後、ようやく力が出て走りました。その後、別な本で、理由と意義がわかりました。これは、「走れなくなるまで追い込んで練習したということで、喜ぶべきことなのだそうです(^_^)。なるほど。そして、翌日、休みを入れると、その翌々日、最初の山岳マラソン8キロ走は、力強く走りました。つまり、ここまでにはきつかったけど、健全な強化訓練で、オーバートレーニングでは無かったのだと思います。でも、こうした蓄積疲労の中で、翌週、山岳マラソン10キロの後半、慣れない山下りのスピード走の衝撃が、5キロ近く続いたことは、今の僕にはオーバートレーニングで、ケガということになったのだと思います。

チャーチ&ホームスクーリングにおいても、肉体や精神のさらなる限界への挑戦、そして、イエスさまに委ねるぎりぎりのところがあります。その状態が、忍耐と祈りと全力前進のこらえどころか、あるいは、心も体も、蓄積疲労で、ケガをした状況で、燃え尽き症候群になる前に立ち止まり、休むべきか……、判断は微妙だと思います。ケースバイケースだろうし、とにかくよくわからないので、チャーチ&ホームスクーラーの皆さん、上記のとおり、真面目なタイプがそろっていると思うので、是非、疲れたら、休むように、と勧めるのが良いだろうと、今回、改めて思いました。神さまも、イエスさまも、

休息は取られ、また、主に憩うことを命じていますから。

教訓3 休めば治る。 さらに強くなるためにキリストの元へ

幸いなことは、「休めば治る」ということを体感していました。2年前の「第1回チア・オリンピック・100メートル走」での肉離れの体験も生きました。この時は、走って、「ブツッ」という感じで、太もも裏を肉離れしました。痛かったです、その時は、今回と違って、まったく走れない状況ではなく、その日、がんばって、1500メートル走、走り幅跳び、ほか各種目に挑みました。最後は、太ももを曲げられなくなり、ロボットのようになって帰宅し、3日間、ずっと寝込んでました。でも、幸いなことに、1ヶ月半して完治し、啓明小のリレー大会に出場でき、また、その後、現在に至るまで、まったく支障がありません。太もも裏を鍛え直そうと、ダッシュを増やしたりし、前より柔軟をしたりして、2年前より、ずっと強化もされています。

読んだ本の中で、「上手に直せば、さらに筋肉を強くできる。人々、練習で筋肉を使うことは、筋肉に傷をつけ、そこが新しく回復し、強化されて、さらにたくましい筋肉になっていくことです」と、書いてありました。こじらせないで、患部をしっかり休ませることが肝心で、それさえすれば大丈夫との医学的な論理の裏付けもあり、「休めば治るんだ。治ったら、かえって前より強くできるんだ」と確信しています。今、疲れているチャーチ＆ホームスクーラーの皆さんがいたら、やはり、同じことを伝えたいナーと思いました。「しっかり休む時は休んで。痛んでいる体でも、心でも、回復したら、前より強くできるよ！」と。「思い患わないで」ということですね。

前号では、苦難の先には、神さまにあっての成長プランが待っていて、苦難をクリアするだけでなく、今度は、他の人を助けられるようになる！と教えられたことを書きました。

その神さまの御手を信じて、「休むべきときは、しっかり、休もう！」そして、元気になったら大いなる貢献をしよう！」と学んだ気がします。これも、「すべての営みには時がある」（伝道者の書3：1）であり、「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたし（キリスト）のところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」（マタイ11：28）のイエスさまの元に帰り、休み、そして鷺の如く、立ち上がりう！と思いました。

鬱状態になったエリヤへの神さまの処方箋

神さまの奇蹟と圧倒的な勝利を体験した預言者エリヤは、その後、心身共に疲れ切り、鬱状態となり、「主よ。もう十分です。私のいのちを取ってください。私は先祖たちにまさっていませんから」（1列王記19：4）と訴えます。神さまは、眠っているエリヤ

の元に御使いを送り、食事を与えます。「起きて、食べなさい」（5節）。飲食後、エリヤは再び、横になります。再び、御使いはエリヤにさわり、食事を与えます。『彼はそれを食べ、そして飲んで、また横になった。それから、主の使いがもう一度戻って来て、彼にさわり、「起きて、食べなさい。旅はまだ遠いのだから」と言った。そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、歩いて神の山ホレブに着いた（6－8節）』。休息を与えられ、食事とやさしい御手を与えられ、エリヤは復活し、力を得て、たどり着いた神の山、ホレブで、新しい使命を神さまから聞き、そして、さらに力強い役割を果たしていきます。まず神のもとでの休息があったことが、落ち込んでいたエリヤが立ち返る第一歩でした。休むこと、安らがせるとの重要性を思います。

今回、最後に示されたことは、寄り添う人々の大切さ、僕としても、チアとしても、皆さんたちに、さらに、寄り添っていけたらと思ったことでした。

御使いのようなコーチ

足を引きずり、7キロほど歩いたところで、コース途中に立っている、マラソンチームのコーチみたいな感じの人に話しました。どうして僕から話しかけたのか、今、思うと不思議です。「アキレス腱の上、先週痛めたところ、また、再発して……」「ふくらはぎかい？」。わかるよ、よくやるんだよね……、そんな深い理解と受容を感じました。「そう。来週、山岳マラソンのレースですが、参加は無理でしょうか」「うーん。大丈夫だよ。筋肉をほぐすローラー、持ってるでしょ。それでいっぱいマッサージすれば大丈夫だよ」「そうですか。ありがとうございます」

それまで、暗く沈んでいた僕は、このことばで、希望が与えられ、一気にうれしくなりました。なぜ僕は話しかけたのか、今もってわからず、エリヤに現れ、励ました、天使のような人だなーと思ってしまいます。

休め！ Enough is enough!

そして、さらに2キロ歩いて、何とかゴールイン。不本意なレースで、ゴールには感動ありません。出店の一つに、さっきのコーチが言ってたマッサージローラーが見本でおいてあったので、早速、借りて使いました。「痛いけど、気持ちいい！」。すると「一人でローラーでマッサージなんて、寂しい。マッサージなら、向こうで無料で受けられるよ」とマッサージ店の出店の方がチラシを渡してくれました。さっきは、ウェイティングが約20人いたのであきらめたのですが、今は5人ぐらい。それで無料マッサージもしてもらい、これも気持ち良かったです（痛めた時は、2－3日はマッサージしない方がいいという説もあり、わかりません。でも、僕には気

持ち良かったです)。

帰り道、救護班の人に事情を話し、氷をもらいました。お医者さんなのか、ボランティアの方なのかわからないけど、豪快な初老の方のことばも心に残りました。「次のレースはいつだって?」「来週。山岳マラソンなんだけど。できるでしょうか?」「(女性の看護師さん) 山岳はきついよ」「休め。ま、年だ。もう十分だ! (無理は無理) (Enough is enough!)」と威勢よく言ってくれました。(あれ? 映画のナルニア・第1章で出てきたことば、「フィニッシュ イズ フィニッシュ!」みたいだ。白い魔女に魂を売ったエドモンドの命を買い戻すために、アスラン王が自分の命を犠牲にしました。でも白い魔女が、まだ権利を握っているかのごとく主張した時、きっぱりと宣言したことば——。状況はちょっと違うけど、「もう十分。Enough is enough!」で、きっぱりとあきらめる時かな。じゃ、来週は、参加賞のTシャツをもらって見学して帰るか……と思いました。そのことばで、はっとさせられ、気分は晴れ晴れでした。

その後、筋肉用のクリーム等を塗ったら、傷みがずいぶん取れて、出られるかナー、出たいナーと思いました。でも、本を読むと、1~3ヶ月の休養があるので、やはり、ここは忍耐かと思いました。娘のエミリが、家の近所に、最近、マラソングッズ専門店ができたことを教えてくれました。筋肉ローラーを買いにいくと、そのスタッフさんも、「無理せず、休んだ方がいいよ」とのこと。

コース途中で出会ったコーチ、救護班の「Enough is enough!」の初老のおじさん、マラソンショップのスタッフの方、家族——寄り添ってくださる方の存在を心から感謝しました。チャーチ&ホームスクリーニングにおいても、自分も、そのようになれるように!と祈りました。また、チア・コンベンション等に来てくださる方も、ぜひ、そのように祈って参加くださいり、多くの皆さんを孤立させず、助けてくださったと思いました。

教訓4 苦難を経て、寄り添えるように!

苦難にあうこととなるペテロに、イエスは言いました。「わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのためになりました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」(ルカ22:32)

イエスは、苦難が起こることを止めませんでした。さらに大きな計画、立ち直るのみならず、その後、兄弟たちを力づけられるよう祈り、命じました。私たちも、そうしたイエスさまを信じ、苦難を乗り越えるのみならず、寄り添えられるように祈っていました。

希望の未来

走ることはできないけど、他の運動はできるなーと思いました。本にも書いてありました。それで、



バーバンク市のバス停で、ホームスクーラー＆片腕のパーソナルトレーナー、ベサニーの大型ボスター、発見! 希望をアピールして、全米各地に貼られました! ハーレルヤ! 速報! ベサニー、婚約! のニュースが5月8日、ユース牧師との婚約。沼で、「今の願いは結婚と子育て!」と言つて、昨日、気仙全答えられました! ハーレルヤ!

真祈史のマウンテンバイクを借りて、サイクリングをすることにしました。2日めは、ジョセフ(4才7ヶ月)が一緒に来たいということで、補助輪つきの自転車と一緒にサイクリングロードを走りました。往復で8キロ。ジョセフが楽しそうに伴走するので、それ違う人々も、ほとんど笑顔で過ぎゆきます。「(ジョセフ) ダディ、これ面白い。毎日、やるべきだね!」

家に近づいたあたりで、8才ぐらいの男の子が自転車で先導し、お父さんが必死にランニングしている父子と出会いました。いいなーと思って見てました。今は、ジョセフの相手とか、仕事とか、全部終わった後、夜11時過ぎからが僕のマラソントイムで、できれば、その父子のように、明るいうちに一緒に走れたらナーラーと思ったからです。そのお父さんが、僕の思いに気づいたのか、突然、「もうすぐだよ。すぐに君の息子が同じように先導して、走るようになるよ!」「ありがとう!」。なんか、うれしくて、これも神さまからの励ましのことばとして、その近い将来を信じて、受けとめることにしました。

チア・コンベンションも直前です。疲れたエリヤのような皆さんは、ぜひ、どうぞ、休みに来てください。また、今、順調の皆さんも、ぜひ、改めて情報を得てください。「謙遜は栄誉に先立つ」ですし、「熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつまずく」(箴言19:2) とある通りです。そして、イエスさまがペテロに言ったように、皆さんが「兄弟たちを力づけて」くださる、そんなコンベンションになればと祈っています。僕を筆頭に、チア・スタッフ一同、未熟ですので、どうぞ良き働きができるよう、お祈りください。

新緑の5月、エンジョイされますように。皆さんの上に神さまの祝福がますますありますように心から祈ります。

稻葉 寛夫

父の心を子に向け、子の心を父に向けて——（マラキ4：6）

チア・コンベンション2013

[5/23(木)-24(金)] 関西の宿泊は満室となりました！

[5/31(金)-6/1(土)] 東京の宿泊はまだ大丈夫です。お早めに！

【宿泊のキャンセル料金】 ■ 2週間前まで：20% ■ 2週間前から当日：返金なし
(一般的のホテルと違い、センターは約2週間前に最終確定をするためです)

☆ 東京・大阪2会場 W参加者の特典!! ☆

東京・大阪2会場ともに参加をご希望の皆様へのプレゼント！

大阪の参加費は3才以上～大人は1000円、0～2才は無料です！（宿泊費等は別）。

今年は、東京から大阪に参加など新しい参加スタイルも増えています。
それぞれの会場の特徴がありますので、導かれたら、ぜひW参加ディスカウントも
ご利用ください！

大阪 スケジュール（予定・敬称略）

【23日】

9:10 受付開始
9:25 プロムナード 賛美
9:35 開会 挨拶と祈り
9:50～10:50 基調講演1 ザン・タイラー
11:00～11:30 基調講演2 ピリポ・ブローマン
11:40～13:00 昼食
13:00～13:30 賛美 インフォメーション
13:30～14:20 分科会1

ザン・タイラー 宇佐神 実 伊藤 義和・こずえ	マタイ・ブローマン 稻葉 寛夫 慶大実験（赤林・大垣）
-------------------------------	-----------------------------------

14:35～15:25 分科会2

ザン・タイラー ジョー・タイラー ピリポ・ブローマン 松本 明	GrapeSEED（日本語） 岡本 俊樹・義子 慶大実験（赤林・大垣）
--	---

15:40～16:30 分科会3

ジョー・タイラー ナタン・ブローマン 堀井 卓 那須 清志・百合美	GrapeSEED（English） 太田 仁一 慶大実験（赤林・大垣）
--	--

16:30～16:45 インフォメーション&祈り

【24日】

9:10 受付開始
9:20 プロムナード 賛美
9:30 開会 挨拶と祈り
9:50～10:50 基調講演3 ザン・タイラー
11:00～11:50 分科会4

ザン・タイラー 希恵・ブローマン 大久保 みどり 乾 亮介・奈々	宇佐神 実 竿代 健 慶大実験（赤林・大垣）
---	------------------------------

11:50～13:00 昼食

13:00～13:40 賛美 表彰式

13:55～14:45 分科会5

ザン・タイラー ジョー・タイラー ピーター・ブロックソム	柿本 満・ひかる 木谷 直也・尚美 慶大実験（赤林・大垣）
------------------------------------	-------------------------------------

15:00～15:50 分科会6

ザン・タイラー 堀井 卓・みぎわ トニー・バレラ 藤田 桂子	ピリポ・ブローマン 山川 哲平・真紀子 赤林・大垣
---	---------------------------------

16:15～16:45 フィナーレ、チルミニ賛美

東京 スケジュール (予定・敬称略)

【31日】

8:40 受付開始
 9:25 プロムナード 賛美
 9:35 開会 挨拶と祈り
 9:50~10:50 基調講演1 ザン・タイラー
 11:00~11:30 基調講演2 ピリポ・ブローマン
 11:35~11:45 インフォメーション
 11:45~13:05 昼食
 13:00~13:30 賛美 インフォメーション
 13:45~14:35 分科会1

ザン・タイラー	太田 仁一
宇佐神 実	辻岡 健象
慶大実験（赤林・大垣）	稻葉 寛夫
藤田 桂子	飯島 修&未穂
堀井 卓&みぎわ	

14:50~15:40 分科会2

ザン・タイラー	堀井 洋二
ピリポ・ブローマン	ピーター・ブロックソム
慶大実験（赤林・大垣）	ナタン・ブローマン
GrapeSEED（日本語）	得丸 信子

15:55~16:45 分科会3

ザン・タイラー	ダニエル・ファンガー
ジョー・タイラー	井上 正人・知恵
慶大実験（赤林・大垣）	藤本 博樹・由美
GrapeSEED（English）	松木 充
成田 久美	

17:00~18:40 夕食

18:45~21:00 賛美 自己紹介&アップデートタイム

【1日】

8:40 受付開始
 9:10 プロムナード 賛美
 9:20 開会 挨拶と祈り
 9:30~10:30 基調講演3 ザン・タイラー
 10:50~11:40 分科会4

ザン・タイラー	稻葉 寛夫
宇佐神 実	藤井 一朗
慶大実験（赤林・大垣）	森脇 弘隆・由美子
藤原 樹里&佐野 結子	梶山 直樹&志津
希恵・ブローマン	志賀 信泰&麗子

11:40~13:10 昼食

13:15~13:50 賛美&絵画表彰式

14:15~15:05 分科会5

ザン・タイラー	ピリポ・ブローマン
ジョー・タイラー	吉村 忠敏・則子
慶大実験（赤林・大垣）	伊澤 聰一郎・恵美
田村 正幸	ビショップ 憲子
マタイ&愛子 ブローマン	パート・ジョンソン

15:20~16:10 分科会6

ザン・タイラー	ピリポ・ブローマン
ジョー・タイラー	藤田 桂子
赤林・大垣	松岡淳裕・みぎわ
桐山 垒・明日美	デニス&
堀井 卓	エリック・モイヤー

16:30-17:00 フィナーレ、チルミニ賛美

☆自己紹介&アップデートタイム at 東京コンベンション☆ (5月31日(金) 夜7時~ 大ホールにて予定)

東京コンベンション会場で、初日の夜、自己紹介&アップデートの時を持つことになりました！ みんなともっとよく知り合え、励まし合えます！
 1家族の持ち時間（予定）は40秒（or個人：30秒）！ 終了後、各地域ごとのミーティングも計画中。
 名簿作成の関係上、参加ご希望の方は、以下の申込事項を明記し、Eメール（office@cheajapan.com）または、FAX（03-6862-8648）でお申込みください。

参加者お名前（ ）
 （ ）
 （ ）

一言アピール欄

コンベンション2013 抄録（五十音順・敬称略）

主講師 ザン・タイラー (Zan Tyler)

■基調講演1「子どもたちの可能性をどのように育むか (How to Cultivate Your Children's Potential)」

子どもたちを見る時、大変で、疲れる……とだけ、思いますか？ それとも、神様の見方をしていますか。無限の可能性がある子どもたちとして。この分科会では、子どもたちのための素晴らしい世界、子どもたちの一生に関わっていくビジョンを与えます。日々の歩みから、可能性の兆候を見出す方法、逆に、どのような点を収穫期前に見落としてしまいかがちか。また、様々な面を聖書の視点で見つめ、希望と将来のビジョンを形成し、神様がどう可能性を伸ばし、育てようとしているか。神様が備えたアイデンティティをどう身につけさせるか、人生の目的の発見、聖書的な世界観の強化、リーダーシップとコミュニケーション技術をどう伸ばすか。わくわくする「子育てのビジョンと指針」をつかむ価値あるセッション。

When you look at your children, do you see only little people making demands on your time? Or do you see what God sees? a landscape of limitless possibilities? Author and homeschool mom Zan Tyler wants to take you beyond the demands of everyday life to embrace a wondrous, life-giving vision for your children's future. You will learn to recognize the signs of potential in your children's lives?signs that are easy to miss yet ripe for cultivation. You will begin to see every facet of each child's life through the eyes of faith and the lens of Scripture and to create a vision of hope and beauty. You will also look to the Master Gardener as you learn to use the tools He has given you for cultivating that child's potential. Let Zan show you how to help your kids establish a godly identity, discover their purpose, develop a biblical worldview, and build leadership and communication skills. You will come away with a vision of child-raising so captivating and enthralling that you will know, come bedtime, it's all been well worth the effort.

■基調講演2「笑いが良薬：実生活からの結婚生活レッスン (Laughter Is the Best Medicine: Marriage Lessons from Real Life)」(by ザン&ジョー)

ジョーさんは言います。「ザンは、学生時代、親

友で、ミニストリーの最高のパートナーでした。愛していたし、彼女が自分をどう思っているか知りたかった（デートは、一度もしたことがなかったので）。それで、突然ですが、大学3年の時、プロポーズしてみました。ザンは、1ヶ月、僕と口をきいてくれませんでした。」

この危なっかしいスタートに関わらず、2人は、35年間の結婚生活をエンジョイしてきました。たくさんの喜びと勝利と困難の嵐の時を共にしました。主にジョーさんが空気を変える役を果たします。

「ジョーが笑わせてくれたことが、大きな助けでした。私たちが逮捕、投獄の脅威にさらされた時、また21年間のHS時代のプレッシャーや様々な日々のストレスの中で」。ユーモアと励ましと共に、2人の最大の危機となった夫婦ゲンカを含め、35年の日々での体験を分かち合い、そこで教えられた聖書からの原則に焦点をあてます。そうした聖書原則が、不動の結婚生活の礎を築いていきました。聖書からのビジョンを理解し、抱くことが、生き生きした夫婦関係を育む鍵でした。

Joe Tyler says, "Zan was my best friend and ministry partner when we were in college. I knew I loved her and wanted to know how she felt about me, so out of the blue (we had never dated), I proposed to her during our junior year. She didn't speak to me for a month." In spite of this rocky start, Zan and Joe have thoroughly enjoyed thirty-five years of marriage. They have experienced many joys and triumphs and weathered many storms. Along with the varied hats Joe wears in the home, he is in charge of attitude adjustments and comic relief.

"Being able to laugh through the years has helped me survive things like threats of jail, the pressures of twenty-one years of homeschooling, and the stress of life in general. Joe makes sure I laugh a lot," says Zan. Come enjoy a refreshing session of humor and encouragement as Joe and Zan share candidly about the ups and downs of married life (including their biggest fight ever), while focusing on the biblical principles that have served as the unshakeable foundation of their marriage. Understanding and embracing the magnificent biblical vision of marriage is the key to a vibrant relationship.

■分科会1「どんな世界でも、有為のクリスチヤンとして力を發揮する子育てのために！ (Raising Children to Be Intentional)

Christians in a “Whatever” World】

子どもたちは、世俗的な環境に置かれ、様々な事象と戦っています。私たちの子ども時代には無かつた戦いです。世俗とどのように接していくか準備されないために、信仰的な家庭で育った、驚くべき数の子どもたちが、信仰を失った大人になっています。それゆえ、強い聖書的な世界観を建てあげることが、親がなすべき、最も大事な教育の一つです。それは、生活のすべての場面で聖書的に考え、強力な思索・識別力を養い、リーダーとして、コミュニケーターとして育てることにつながります。信仰に反対される場面でも、力を与え続けます。聖書的世界観とは?なぜ、大切なのか?親は子に、どのように世界観を教えるか、等々。真の聖書的な世界観は、社会に強い影響力を与え、人々を助け、問題解決能力を備えさせ、神の栄光を現す人物へと子どもたちを養い育てていきます。

Our children live in the midst of a secular culture and face a host of frightening problems that we never had to deal with at their age. Because they are not prepared to counter our culture, startling percentages of children raised in evangelical homes do not continue in their faith and beliefs into adulthood. For this reason, training our children to develop a strong biblical worldview is one of the most vital things we can do. Teaching them to think biblically about all areas of life equips them to become powerful thinkers, leaders, and communicators. Most importantly, it also gives staying power to their faith as they face opposition. In this session, Zan Tyler provides practical answers to the following questions:

- What is a biblical worldview and why is it crucial for my children?
- How can I teach worldview? especially if I don't understand it myself?
- How can I teach worldview to my elementary-aged children?
- How can studying the life of Daniel change my teenager's life?

Our goal as Christian homeschoolers must be bigger and broader than turning out kids with exceptional talent and high SAT scores. By incorporating worldview training, we can better equip them to use their gifts to impact the world for Christ, help others by solving real problems, and bring glory to God in the process.

■分科会2「火の燃える炉の中の人生 (Life in the Fiery Furnace)】

ホームスクーリングは、親にとって大変な労力を必要とします。多大な犠牲と大いなる期待は、しば

しば、私たちを大失敗と大いなる失望に陥れます。時には、私たちが、神様に精一杯、従い、家族を心から愛していても、予期せぬ形で、火の燃える炉の中のような、試練や困難に直面することがあります。なぜ? ダニエルの3人の友が火の燃える炉に投げ込まれた時、3人は何の罪も犯していませんでした。私たちは、強い火の燃える炉を聖書の視点で見ていくことが肝心です。このセッションでは、私たちを燃え尽きさせかねない要素を見つめます。ホームスクーリングをあきらめ、学校に戻しかけている方がおられたら、今、何をすべきか話します。私たちは、強い聖書的な目的とビジョンを持つ必要があります。

Homeschooling is hard work that places great demands on us as parents. The combination of great demands and great expectations often sets us up for great failure and disappointment. We quickly find out as we homeschool that things don't always go according to our plans. Sometimes, when we are doing our best to follow God and love our families, we unexpectedly find ourselves in the fiery furnace. Why does this happen? How does it happen? What is God trying to do in our lives? When Daniel and three friends were thrown into the fiery furnace, through no fault of their own, they discovered deep fellowship with the fourth man, who is Christ. If we learn to look at the Fiery Furnace through the eyes of Scripture, we can begin to bask in God's love in the midst of trials, rather than being consumed by the flames and burned out by our circumstances. In this workshop, we will look at the things that lead to burnout and talk about ways to avoid them. We will also talk about what to do if you find yourself already there ready to throw in the towel and put your children on that very appealing yellow school bus. This workshop will contain many practical tips on streamlining your life, but it will also focus on vision. We must have a powerful, biblical vision of what we are ultimately trying to accomplish in the lives of our children through homeschooling in order to sustain us through the hard times and difficult days.

■分科会3「私に話して! 会話力がもたらすやる気と学習能力の成長 (Talk with Me: How Conversation Stimulates Learning)】

学校では、先生との個人的な会話の数は、1日平均8-10回程度と報告されています。ホームスクーリングでは、数百回に及ぶという大きなメリットがあります。この会話を通じて、子どもたちの学習への「やる気」を導く方法があります。家庭での「いさかい」を減らし、「友情や情熱」をもたらす、シンプルで深遠な「勤勉さと喜び」をもたらす方法、

それは「会話力」です。

In the traditional school environment, students have an average of eight to ten individual interactions with their teacher each day. In your homeschool, these verbal interactions can number in the hundreds and thus greatly enhance the education your children receive at home. Zan Tyler shares how the simple, free tool of conversation can help your children replace boredom during lessons with a motivation to learn. Discover why parents make the best teachers and capitalize on these strengths. Explore ways to minimize conflict in your home and promote camaraderie and enthusiasm instead. Identify simple but profound ways to replace drudgery in learning with stimulating academics. Conversation is key!

■分科会4 「神は、母親の限界と弱点をどのように用いられるのか（How God Uses Our Limitations and Weaknesses as Homeschooling Mothers）】（東京会場のみ）

お母さん、あなたは、パニックになったことがありますか。自分は、子どもたちが社会で成功するための十分なものを授けているだろうかとの憂いから。あるいは、チャーチ＆ホームスクーリングには、自分は全く力不足だと思い煩っていますか。勉強が全然進んでいない不安と焦燥に駆られたことがありますか。それらは、私自身が体験した感情であり恐れです。神様は私たちの限界と弱さを知っておられます。このセッションでは、具体的に、不安や恐れに挑まれやすい要素、ビジョン、家計、知識、家族関係、疲労などを見つめ直します。聖書は、希望、忍耐力、助けの約束を与え、弱く、疲れて、不完全な私たちを力づけ、羽ばたかせます。無限の力、無条件の愛を得る時に、不可能が可能になることを。

Do you ever have those moments of panic when you wonder if you are giving your children everything they need to succeed in life? Or, in those rare quiet moments of thought and reflection, do you worry that you are inadequate for all that homeschooling requires of you? Do you ever wake up in the middle of the night plagued by the long list of important things that still need to be done and know there will never be enough time in the day to accomplish them? If you, like I, have experienced these feelings and fears in your homeschooling journey, then come to this workshop and be encouraged. God knows that as human beings we are confined and surrounded by limitations and weaknesses. We will look specifically at the challenging areas of vision, finances, knowledge, home management, and fatigue. The Scripture provides promises of

hope, strength, power, and help for those of us who are weak, weary, and imperfect. The Bible also instructs us in accomplishing the impossible as we bask in God's boundless resources, amazing strength, and infinite love.

■分科会5 「チャーチ＆ホームスクーリングマラソン・完走への10のトレーニング方法（Ten Training Tips for Running the Homeschool Marathon）】

チャーチ＆ホームスクーリングは100メートル走のダッシュではなく、42キロのマラソンです。マラソンを完走したいなら、苦難に耐えてゴールできるように、自分の力、スタミナ、ビジョンを築き上げるトレーニング戦略を開発しなければなりません。チャーチ＆ホームスクーリングという神さまによって与えられた仕事を完成させ、「私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けること」ができるよう、役立つ10のトレーニング方法を分かち合います。

Homeschooling is more like running a twenty-six mile marathon than the one-hundred yard dash. If you want to successfully complete the marathon, you must develop a training strategy that builds your strength, stamina, and vision, enabling you to persevere until the end. Zan Tyler, who has completed twenty-one years of homeschooling, will give training tips that will help you complete the God-given task of homeschooling and help you run with endurance the race that lies before us.

■分科会6 「疲れましたか？聖書は、ホームスクーリングの危機をどう、解決に導くか？（Overwhelmed? How the Bible Can Solve Your Homeschooling Challenges）】

皆さんはホームスクーラー・ママとして、葛藤を覚えたことはありますか。ホームスクーリングが、退屈でつまらない日常になりそうな時、神のみことばこそ希望と助けを与えてくれます。ぜひこの分科会でそれを発見してください。以下の質問について、聖書から紐解いていきたいと思います。

- ・ホームスクーリング、あるいは新年度のことについて考えると、疲れと不安と恐れを感じる時、どのようにして克服するのでしょうか。
- ・日常生活において遭遇する実際的な問題について、聖書の学びが助けとなりますか。
- ・子どもたちに常に囲まれていて、一体どうやって神さまとの個人的な時間を持てるのでしょうか。
- ・神のみことばが生きていて、実際的な働きをなし、力があることは知っています。けれども、ホームスクーラー・ママとしての責任や、要求の多さに疲れ切っている時でも、本当に助けになるのでしょうか。
- ・私は今、日々のホームスクーリングやカリキュラムの選択、ホームスクーリングのやり方を学ぶことに、とても葛藤しています。聖書から、それら具体

的なことを学ぶことはできますか。

神のみことばは、希望、励まし、動機、安全感、そして現実的な助けを与えてくれます。ぜひこの分科会でそれらを見つけて、皆さんが探し求めていた良き知らせを受け取ってください！

Do you ever struggle as a homeschooling mother? Come discover the hope and help the Word of God gives when it comes to the daily grind of homeschooling. In this workshop, Zan Tyler opens the Bible to answer these questions:

- How can I overcome feeling overwhelmed, intimidated, or fearful when I think about homeschooling and the new school year?
- Can studying the Bible help me with the practical problems that I encounter on a daily basis?
- How can I seek God when I'm always surrounded by children?
- I know the Word of God is living, active, and powerful, but can it really help me deal with the overwhelming responsibilities and demands in my life as a homeschooling mom?
- I'm really struggling with homeschooling, choosing curriculum, and learning styles. Does the Bible get that specific?

God's Word provides hope, encouragement, motivation, and comfort—and real help. Join Zan as we look to it today and find the Good News you have been seeking!

ジョー・タイラー（Joe Tyler）

■「神の遺産を残すために — 夫と父が持つべきホームスクーリングの幻 (Leaving a Legacy – The Vision of the Homeschool Husband and Dad)」

ある携帯電話のコマーシャルで、NBA・プロバスケットボールの選手が、目隠ししたままバスケットをしようとしていました。彼は、ゴールが見えないため、得点しているかどうか分かりません。男性は、あまりビジョンを持たないまま、夫、父親、家族の靈性を守る羊飼い、校長、コーチ、そして、しつけ役の役割を引き受けがちです。ビジョンは、ゴールを定め、達成するために必要不可欠なものです。この分科会では、どのように神が導くゴールを定めるか、その目的を達成するために神が油注ぐ手段を見つける方法を分かち合います。さらに、以下の秘訣もお分かちしたいと思います。妻を幸福にすることに夢中になる秘訣、家庭を穏やかで平安な王国にする秘訣、子どもたちが想像以上に心身共に、満たされ、豊かになる秘訣、あなたが成し遂げた偉業を見て義父が恐怖の念を抱く秘訣などです。クリスチャンの夫として父として、遺産を残すとはどういうことか、この分科会で話し合いましょう。

A cell phone commercial features an NBA

point guard trying to play basketball blindfolded. Because he can't see the goal, he's never sure if he's scoring. Too often, men take on the tasks of husband, father, shepherd, principal, coach, and disciplinarian without the vision necessary to define and accomplish the goal. In this session, Joe Tyler helps define the goal and shares how to discover the divinely appointed means of achieving it. You may even learn the secret to making your wife deliriously happy, your home a quiet and peaceful kingdom, your children rich beyond measure, and your father-in-law in awe of your great accomplishments. Come join us in our discussion of what it really means to leave a legacy as a Christian husband and dad.

■「健全な子どもたちを不健全な社会の中で育むために (Raising G-Rated Sons in an R-Rated World)」

私たちは父親として、キリストを中心にしたビジョンを、純粋な状態で、息子たちのうちに教えようと努力します。しかし、現代社会の圧力や影響の中で、様々な障害に直面します。この分科会では、その問題点について話します。若者たちが、世俗の圧力に流されず、逆にリードしていくための実践的なアドバイスも分かち合います。率直で微妙な話題を扱いますので、男性対象の会です。

Joe Tyler discusses the key issues we face as dads striving to instill a Christ-centered vision of purity in our sons. He addresses the cultural pressures on our young men and shares practical advice to counter the culture. Because of the frank and sensitive nature of this discussion, we request that only men attend.

■「え、何がしたいって？ いやいやホームスクーリングを始めたお父さんの告白 (You Want to What??!! Confessions of a Reluctant Homeschool Dad)」

妻のザンが1984年にホームスクーリングを勧めてきた時、私は彼女の気は確かにと思いました。この分科会では、最初は懐疑論者だった自分が、熱心な推進者となっていくまでの間の、ホームスクーラー・パパとしての経験について分かち合います。母親の皆さんには次のことを学ぶでしょう。気乗りしない校長先生と一緒に、ホームスクールの授業を活性化させていく技術について。父親の皆さんには両足で飛び上がるほどの励ましを受け、楽しむことでしょう。警告：この分科会に参加すると、お父さんたちがあまりにも興奮してしまって、自分は教師になると言いく出するかもしれません！

When Joe Tyler's wife, Zan, recommended homeschooling in 1984, he thought she was

crazy. In this session, Joe shares his experiences in his homeschool-dad journey from skeptic to raging fan. Moms will learn techniques for thriving in their homeschool classrooms with a reluctant principal, and Dads will be encouraged to jump in with both feet and enjoy the experience. WARNING: In this session, dads may become so enthusiastic that they may even become teachers!

《基調講演》

■「クリスチヤンの親による教育の基本」(関西&東京会場) ビリボ・ブローマン

どの父親でも、母親でも、子どもたちの日常生活の中で教えることができる大切なこと：

- 1.お父さんとお母さんに従うこと
- 2.嘘をつかないこと
- 3.聖書の言葉

子どもたちに与える教育と訓練の全ては、イエス様が私たちに与えてくださった仕事をするための準備です。

《分科会》

■「経済学の視点で政策を考える」(東京会場)

赤林 英夫・大垣 昌夫

経済学は、「金儲け」の学問ではありません。「希少な資源が、人々にどう分配されているか、また、分配されるべきか」を探究する学問です。例えば教育や環境や年金にどれだけ投資するべきか、という問題は世代間の資源分配の問題と捉えられます。領土問題は他国との資源配分の問題と捉えられます。歴史上の多くの偉大なリーダーたちは、子どもの時から家族でどのような政策が良いか話し合うことによって、政策について興味を抱き、良き決断の基準を身につきました。政策について話しあうためには、経済学の視点が役立ちます。聖書のむだに捨てないように（ヨハネ6：12）という教えは從来の経済学での政策評価のために研究してきた経済効率性に関係し、最新の行動経済学の分野では、無条件の愛（1コリント13：4?7）や、隣人の徳を高める（ローマ15：2）ことに基礎を置いて政策を評価する研究も行われています。本講演では経済学の視点から、特に教育政策と、無条件の愛と徳を高めることに基づいた政策評価についてお話しします。

■「学校からホースクールへ」(東京会場)

飯島 修&末穂

「主は私達家族を滅びの穴（この世）から、泥沼（肉の思い）から、引き上げて下さった。」「狭い門から入りなさい。」

「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志をたてさせ、事を行わせてくださるのです。」

一人娘が中学2年生の2学期からホームスクールをスタート。主の憐みと、多くの助けの中で導かれた経緯を証しいいたします。

■「こんな風にやってます！伊澤家のHS！」(東京会場) 伊澤 聰一郎&恵美

伊澤家のHSは3年目！ 子どもは小6、小2、年長、1歳。山あり谷ありの毎日ですが、HSによって、充実の日々が与えられ感謝で一杯です！ この1年のHSの実際を証しし、わかちあえたらと思います。特に勉強嫌いの小さなお子様をお持ちの親御さん、小学1年生の勉強方法を知りたい方に伝えたいことが一杯です！ 使用中の教材やノートもご紹介します。また、聰一郎は2月にイスラエル旅行へ行き、ユダヤ人教育をかいま見、現地の聖書教材を幾つか買ってきましたので、これらもご紹介できればと思います！

■「情熱子育て」(関西会場) 伊藤 義和&こすえ

ホームスクーリングの毎日は、嬉しいことよりもむしろ大変なことのほうが多いのではないでしょうか。そんな中で、親としてのモチベーションを保ち続けることは大切なことです。困難な中にも恵みを見出し、みことばから力を頂いて子育てに情熱を注ぎ続けていきましょう。どこを見て、どこを目指して日々歩んでいったらいいのか？ もう一度初心に帰る思いで、みことばの原則から分かち合うことが出来れば幸いです。

■「チャーチ&ホームスクーリング - 必ず聞かれる20の質問」(関西&東京会場) 稻葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるC&Hって？」。この13年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

■「何でもQ&A」(関西・東京会場) 稲葉 寛夫

正しいことをする時、時に、困難は許される。未熟な時にも、次のステージに行くために、愛のムチは許される。チャーチ&ホームスクーリングの本質、聖書に立ち返り、全力で神を愛そうとする時にも、困難は許される。その状況の中でも「だれが私たちに敵対できるでしょう」という圧倒的な勝利の道、全力で神を愛する道を選ぶことができる。悔い改めつつ。ノックダウンされても、ノックアウトされず。信じること、聖霊にゆだね、まっすぐに歩くこと、希望と勇気を失わず。そして、福音を伝えるという目的を目指して。神様に示される知恵、本質からぶれずに、全力で神を愛する！ 何でも質問してOKの時間もあります。

■「自称、どこにでもいそうなホームスクーリング家族 パート2」(関西会場) 乾 亮介&奈々

前回チア・コンベンションの分科会でシェアさせていただいてから、6年がたとうとしています（たぶん前回が2007年のKBIかな？）。その時、8歳と6歳だった子どもたちは、14歳と12歳になりました！ふりかえると、たとえ私たちが自分は、はちゃめちゃでふさわしくないと感じても、神様が私たちの心を神様の言葉に向かわせてくださいました。私たちの毎日の生活にとても関心があって、いつも関わってくださる、最高のものを与えたいと願っておられる方の心を家族で知りました。「…その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられる。」（ヨハネ14：17）

またこれから迎える新しい季節も期待していきたいです！

■「まだまだ続く、井上家のホームスクーリング。続けていくための秘訣は？」（東京会場）

井上 正人&知恵

20才の娘と18才、15才、14才の3人の息子たちの信仰的自立。そして、5人目の4才の娘との新しいホームスクーリングの歩み。ホームスクーリングを始めて10年目。第3段階に入った井上家のホームスクーリングの分かち合い。

■「人の祖先はサルなの？ 創世記1：26、27」 (関西&東京会場)

宇佐神 実

聖書は人類が創造主によって直接造られた事を教えてています。一方、公教育の教科書は人類が進化して出現したと教えています。チャーチスクール・ホームスクールでこれらを教えるとき、聖書ではなく教科書の方に間違いがあることをきちんと知っておく事は大切です。過去150年にわたって進化論者が人類の祖先探しをし、さまざまな化石を人類の祖先だと発表してきました。これらの化石について真実を検証し、聖書こそ真理である事を確認し、子供たちに教える備えをしましょう。

■「創造主のかたちに造られた 創世記1：26、27」(関西&東京会場)

宇佐神 実

聖書の歴史は大きく5つに分けると、創造、墮落、救い、回復、永遠です。聖書は人間が創造主の「かたち」に造られたことを教えています。しかしアダムの罪により、この「かたち」がゆがめられてしまいました。聖書は私たちがふたたび完全な創造主の「かたち」を回復し、永遠を生きる事ができると約束しています。これをきちんと子供たちが知る事を通して、子供たちは希望を持って生きる事ができます。聖書が教えている創造主の「かたち」を整理して学びましょう。

■「信仰の生活化、土着化を目指して」(関西会場)

大久保 みどり

日本語は外来語をカタカナ表記にする習慣がありますので、イエス・キリストと言うと則、外来の神様というイメージがつけられ、キリスト教は日本文化に土着化しにくい状況にあります。しかし、利休

は聖書の神髄を侘び寂びの茶道の中に具体化しました。信仰の生活化、土着化を目指すための教育方法を模索してみたいと思います。

■「仏教徒からキリスト信者へ」(関西&東京会場)

太田 仁一

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」（ヨハネ8：12）

キリストは、「わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれもやみの中にとどまるとのないためです」と話されました。

キリスト者は、この光を穴倉や枠の下に置いてはいけません。

仏教主義の学園で日本史を教え、仏教書を読んでいた私は、福音に接し、キリスト信者になりました。そのことに触れながらお話しします。

■「家庭の中での勉強と外での勉強」(関西会場)

岡本 傲樹&義子

1 家庭の中であまり勉強に積極的でなく、暇だと勘違いしている子供とどの様にホームスクーリングしているか。2 海や山などの自然の中でのスクーリングと、それを通して学んでいる事。3 子供の友達関係やHSのキャンプ交流会、勉強会について分かち合いたいと思います。

■「諦め？ 開き直り？ いえ、神の導きです！」 (関西会場)

柿本 满&ひかる

ホームスクーリングを始めて丸5年。その間に子どもが5人に増え、中1長女、小5次女、小3三女、小1長男、年少次男をホームスクーリング中。

「諦め？ 開き直り？ …いえ！ 確かに神の導きの中にあるんです」。5人を1人でみるための、開き直りのアイデアや、諦めから始まった神への信頼……などを分かち合えたならと思っています。

■「福音のダウンロードと起動」(東京会場)

梶山 直樹&志津

ホームスクーリングの日々では色々な取り扱いを受けます。勉強面・生活面ではもちろん、子どもの罪・親の罪・また傷などに気付かされ、家族で向き合い、主の光のもとに持っていくという過程の中で、福音の素晴らしさ、福音こそ神の力であるという事を痛感させられています。主に仕え、いつもそばにいるようなホームスクーラーの私達でも気が付くと放蕩息子の兄のように、実は父の心から離れてしまい、律法的になってしまっている部分に気付かされたり、得意な事・善いと思ってやっている事にこそ傲慢さがあったり…と私たちの弱さを知らされる日々です。そのような中、どのように主から力と励ましを頂いているか、福音の素晴らしさをお分かちしたいと思います。ホームスクーリングは素晴らしい弟子訓練ですよね！ 皆さん、主にあって栄光のゴールめざしていきましょう！

■「父の思い出と自分が受けた教育について」(関西&東京会場) 希恵・ブローマン

今の自分の生き方に一番大きな影響を与えてくださった父が去年の11月に召されました。私の小さいときからの思い出と経験をふり返りながら、父や母から教わったこと、私や兄妹たちが受けた良き懲らしめ、また、介護を通して学んだこと等について皆さんと分かち合いたいと思います。もしご質問あればですが、皆さんとの何でもQ&Aタイムも持たせていただきます。

■「たとえ死の影の谷を歩くとも」(関西会場) 木谷 直也&尚美

私たち家族は、昨年秋より試練のときを迎えました。—この試練をどう乗り越えていくか。— 物事がすべて、良いと思われる方向からまったく反対に進むときに、私たちは眞の信仰を試されます。この間、神様が私たちにくださったメッセージとは? 「たとえ死の影の谷を歩くとも私は災いを恐れません」。この御言葉を心に刻む尊いときを今過ごしています。神様が試練を通して教えてくださった事、また恵み、すべての計画は益となる事をお分かちすることで、試練の中にあるホームスクーラーの皆さんへの励ましのときとなればと思います。

■「桐山ファミリーのホームスクーリング」(東京会場) 桐山 星&明日美

昨年は引越し、2月には第4子の誕生……と激動の変化の中にある桐山家。妻と子供たち4人（長女9歳、長男6歳、次男4歳、三男0歳2ヶ月）でホームスクーリング4年目を迎えました。

■「ホームスクールで教えられた恵みと感謝」(関西会場) 竿代 健

2011年4月から正式にスタートしたホームスクールは3年目に突入。日中は、8歳と6歳の男の子2人と父親の3人で男くさくホームスクールに取り組んでいます。神様の備えと恵みによって支えられながら続いている日常生活を紹介しながら、元教師の経験から適応していること、逆にホームスクールから教えられていること。兵庫県をはじめ他のホームスクーラーとの交流で教えられたこと、その恵み。専業主夫の我が家家の低年収でのサバイバル生活などをお分かちしたいと思います。

■「文学等を用いたクラシカル教育とは — 米国HSに人気のメイソン女史の教育法」(東京会場) サリー・カフマン

1800年代後半のイギリスにおいて、シャーロット・メイソンという教育者は以下のように考えていました。「子どもの教育により適しているツールは、偉大な思考と高尚な考えに満ちた文学作品である。講義を聞かせたり、ワークブックをやらせるより、ずっと良い」と。子どもは機械ではありません。成長し続ける生きた人間です。ですから、ただ単にワークブックの「穴埋め」をしたり、退屈で堅苦しい

教科書を読むよりも、子どもの思考の地平線はもっと広げられ、豊かにされる必要があるのです。この分科会では、どのようにして高尚で、ふさわしい文学作品を用いていくか、またメイソン女史が教え、今、米国HSに人気の高いクラシカル教育とは何か、実際、どう用いていくか等、分かち合います。

Charlotte Mason, a British educator who lived in the late 1800's, believed that great literature filled with noble ideas and lofty thoughts were better tools for educating children than lectures and workbooks. Children are living, growing human beings, not machines, and their horizons of thought need to be wider than "fill-in-the-blank" workbooks, and richer than boring, dry textbooks. This workshop explores how to use fine, noble literature, and how to utilize the classical method of oral and written narration in educating your child, as taught by Miss Mason.

■「始めて1年、新米ホームスクーラー志賀ファミリーの葛藤 ~これでいいのか?」(東京会場)

志賀 信泰&麗子

チアに出会ってホームスクーリングについて祈り始めてから3年、長男の就学を機に実際に開始してから1年が経ちました。長男雄信（7歳）、長女実結（3歳）、次男恵信（4ヶ月）を相手に、その日その日を乗り越えるのに精一杯で、「これでいいのだろうか？」と自問する毎日でした。それでもたくさんのサポートや励ましを先輩方からいただきながらどうにか続ける事が出来、改めて神様の恵みを感じています。

志賀ファミリーのこれまでの歩み（悩み？）を分かち合うと共に、皆様と一緒に、研究所見学、回路作成講習会などお父さん達の特技を生かしたイベントを提案したり、ホームスクーリングをちょっと豊かにするアイディアを交換するようなディスカッションの場を持ちたいと思っています。あと、ちょっとした理科実験デモをやるかも（でもまた企画倒れに終わるかも…）。

■「知恵のある子=親の喜びと慰め」(東京)

ダニエル・ファンガー

「正しいものの父は大いに楽しみ、知恵のある子を生んだものはその子を喜ぶ。(箴言 23：24)

知恵のある子は、生まれつきではなく、神様の恵みにより、また親の教育やしつけを通してそのようになる。明泉学園で私が関わってきた問題を通して、親の対応次第でどんなに子どもの将来が影響を受けるか、また子どもへの教えしつけがどんなに親の将来をも影響するのか、いつも考えさせられています。実際の事例を通して、また自分で子育て（1歳半の娘）を始めて感じることなどを分かち合いたいと思います。

■「ホームスクール・チャーチスクールで教えるこ

と（東京会場）

ホームスクールやチャーチスクールまでして、子供に教えなければならないことはなんでしょう。それは、主の教え、主の正しさを基準として生きる教えです。「心のきよい者は、幸いです。その人は神を見るからです」とあるように、この世の汚れた教えを離れ、聖書による生き方を教える事ができるからです。これは、教科の学習から見ると、小さいことのように思えますが、子供の人生の土台を作る大切な教えです。このことを具体的にどう進めていくかお話ししたいと思います。

田村 正幸

■「親と子が共に取り組み考えるいのちと性」（東京会場） 辻岡 健象&敏子

今年の3月、イスラエルで開催された「国際生命尊重会議」に参加し、「いのちと性」のスピーチをして、世界各国の代表と「いのちと性」に関して真剣に話し合い、その重要性を再確認し合いました。今、日本は乱交文化に突入し、不特定多数の性交渉によって10代の若者の性感染症が急増し、受診者の4人に1人が複合合併性感染症者です。日本の将来が危険視されています。

今こそ、私たちは、いのちと深く関わる性をタブー視することなく、「性とは何か、いのちとは何か」に正面から取り組み、また中絶による少子化問題、性同一障害、同性愛問題、出生前診断にも触れながら、共に学び話し合いたいと願っています。

■「ホームスクーリングにおける神のみことば（God's Word in Homeschooling）」（東京会場） デニス&エリック・モイヤー (Denise&Eric Moyer)

神のみことばは、私たちのすべての言動の土台でなくてはなりません。日々のホームスクーリングにおいて、神の真理を取り入れることは重要です。日常生活に神のみことばを取り入れる方法はたくさんあります。長年に亘って、私は他のホームスクーラー家族から、聖書の真理を子どもたちに教える様々な方法を学んできました。この分科会では、子どもたちの聖句暗記をいかにして助けるか、実践的なアイデアをお分かちします。また、家族で共に持つ祈りの時間や、賛美的時間などをどのように作るか、子どもたちの教育のすべてに亘って聖書の土台をどのように築いていくかもお分かちできればと思います。

God's word should be the foundation of everything that we do. Incorporating God's truths as we homeschool is important each day. There are many ways to incorporate God's word into our daily lives. Over the years we have learned from other families various ways to incorporate teaching Biblical truths to our children. This workshop will cover practical ideas on how to help your children memorize scripture, how to incorporate prayer time and hymn singing time together as a family, as well as making the Bible the

foundation of all of your teaching.

■「これが道だ。これに歩め」（東京会場）

得丸 信子

中3の息子と小3の娘の母子家庭です。ホームスクーリングを選ぶ際に、いろいろな問題や不安のなか、確かな主の導きに全てを委ねスタートしました。主に信頼しつつも、本当にこれでよいのだろうかと不安になったり自分の思いで進めたり。しかし神さまは必ず主のご計画の道、私たち家庭を祝福の場所へと導いてくださいます。この度も、主のご計画と導きによって、皆様に主による我が家のホームスクーリングを証できる恵みに感謝します。

■「創世記1章～11章：子どもが神の御言葉を読み、理解するように備える方法」（関西会場）

(Genesis 1 to 11: How to prepare your child to read and understand the Word of God.)

トニー・バレラ

親として、私達には神の御言葉を子どもたちに教える責任があります。その責任を果たすためには、まず親が神の御言葉に書かれていることをもっとよく分かる必要があります。聖書を正しく理解する、その最善の方法は何でしょうか。それは聖書を通して聖書を理解することです。「創世記」の最初の11章を理解すれば、残りの聖書を読んだ時に非常に筋が通っていることがわかります。この分科会では、基本的な聖書の学び方について学習します。まず親が実践しながら、子どもに教えることができます。そして、その学びは一生使える聖書の学びとなります。

As parents we are responsible for teaching our children from the Word of God. Are you interested in having a better understanding of what is written in the Word of God? Do you know that the best way to understand the Bible is ? by you reading through the Bible? If you have a basic understanding of the first 11 chapters of Genesis, the rest of the entire Bible will be much easier for you to understand. In this mini-seminar you will learn how to study Bible in a very simple way so you can teach your child how to read and understand the Bible for the rest of their lives.

■「いつも共におられる主に導かれる幸い　—那須家のホームスクーリング10年目—」（関西会場）

那須 清志&百合美

2004年4月より始まったホームスクーリングも10年目になりました。現在、長男（21歳）は大学生。長女（19歳）は看護学生2年生。次女（17歳）は5月からアメリカに留学。次男（15歳）は高卒認定試験の準備をし、三女（13歳）は兄と仲良くホームスクーリングで学んでいます。

私たち夫婦は今年で結婚25年。その間の10年間のホームスクーリングを振り返り、たくさん味わった

主の恵みを報告いたします。また、この春、二浪の末、大学に進学した長男の報告も行う予定です。

■「父が残してくれたもの」(関西・東京会場) ナタン・ブローマン

「おまえ達には財産は残したくない、神様に頼ることを忘れて欲しくないから…」とよく父は言った。その言葉のとおり、父は自分も財産を持たず、私たちにも何一つ財産を残してくれなかった。いや、でも実際は、もっと大きなものを残してくれたのだった。それは、お金では決して買えるものではなく、世界の宝を全部集めてもそれに換えることはできないものであった…。

■「神の栄光のためのHS」(東京会場) 成田 久美

クリスチャンホームの子育ての目標は、子供が自分で人生の目的地を「神の栄光」に設定するようにならうことだと思います。そしてそこへは「神を愛し、人を愛する」(マタイ22:37-39、マルコ12:30、31、ルカ10:27)という道を通って行くしかないと思っています。

2004年からHSを始め、子供は21、16、10才になりました。目的地がどこか頭では理解しているけれど……という子供にとって一番のお手本は、いつも共にいる親です。ですからやはり、親である自分と神様との深い交わりこそが、HSをするうえで一番大切なことだと思います。家族一人一人が、どの道が自分にとって「神を愛し、人を愛する」もので、「神の栄光」になるかを模索し、迷いながら、日々歩んでいます。分科会では、そんな我が家のHSの様子をご紹介します。

■「クラシカルクリスチヤン教育：神が子どもをデザインしたように子どもたちを教え育む (Classical Christian Education: Teaching Children by the Way God Designed Them to Learn)」(東京会場)

パート・ジョンソン (Bart Johnson)

クラシカルクリスチヤンスクール運動は約30年前から米国内で始まり、世界中に280もの学校ができるほど成長しました。生徒たちは、大学入試用の学力テスト等において公立私立よりも好成績を収めています。より重要な点は、卒業生達が経営、宣教、科学、テクノロジー、メディア、政治、教育、文学、芸術等の分野で活躍し、神から与えられた賜物を十二分に生かしているという事です。この教育モデルのどこがそのような注目すべき成功を導いているのでしょうか。厳格とも言える教育方法は皆様のお子さん達が喜んで学べる経験になるのでしょうか。この分科会ではそのような疑問にお答えします。ベリタスは幼稚園から高校3年生までのオンラインスクールです。日本在住で英語を母国語とする場合はもちろん、日本語を母国語しながらも英語で学びたいと言う日本人ホームスクーラーも受け入れます。(Q&Aセッション

あり)

クラシカルクリスチヤン教育とは？一神様が創造された子供の成長発達の過程にあわせた勉強方法で、心理的情緒的発達を3段階にわけて考えられたものです。歴史的、近代的教育法を取り入れ、緻密に段階的に勉強して行くアプローチです。この「画期的もあり伝統的な」教育方法は、神様からの与えられた可能性に向かって、自分で学び、考え、表すという人間としての幅広さを卒業生たちに与えています。

The classical Christian school movement started in the U.S. about 30 years ago and has grown to over 280 schools around the world. Its students score well above both public and private school students on standardized tests. More importantly, graduates are thriving and creatively making a difference for the Kingdom in business, ministry, science, technology, film, government, education, literature, the arts … in whatever God leads them to do. What accounts for the remarkable success of this educational model? How can your children enjoy the benefit of this sort of rigorous education? This workshop aims to answer these questions.

(Definition ? classical Christian education is the content and age-specific method for training children that corresponds with the ways God created them to learn during their 3 major stages of mental and emotional development. An academically rigorous approach, it combines the best of ancient and modern tools of learning. This “new, old way” develops thinking, articulate, well-rounded graduates, helping them reach their God-given potential.)

■「神にとって不可能なことは一つもありません」 (東京会場)

ビショップ 棚子

長女（小6）、長男（小4）、次女（小1）のホームスクーリングを始めて4年目。信仰生活2歳の私がなぜホームスクーリングに導かれ今まで続けてこれたのか、神様の溢れるばかの恵みと祝福をお分かちしたいと思います。

■「教育とは何でしょう？～ホームスクール環境に欧米の教育概念を取り入れる方法～(What is Education? How to incorporate western educational concepts in a home school environment.)」(関西・東京会場)

ピーター・ブロックソム

日本は徳川時代の終わりに技術や情報の分野で遅れをとったことに気づき、二度と情報不足には陥らないという目標をもって踏みだしました。現在の日本の教育制度には、丸暗記に重きを置く國の姿勢が投影されています。

教養教育、欧米教育は重要視する点が別のものになつており、今では企業が求めるものとより一致しているというところでしょう。欧米教育・古典教育のモデルはアメリカや英国ではなく、ギリシャやローマ時代に由来します。キケロは、教育があれば人は受け売りではない人生を送ることができると主張しました。

講義では教育の古典モデルの説明に加え、欧米の論理とレトリックに関する概念をカリキュラムに組み込む方法の解説に専念します。

When Japan was caught behind in technology and information at the end of the Tokugawa era, Japan set off on the mission to never be short on information again. Currently the Japanese education system reflects a country that places a high value on rote memorization.

A liberal arts education, a western education is different with a different emphasis, now perhaps more in line with what corporations are seeking. The western or classical education model is not American or British, it comes from the Greek and Roman Eras. Cicero claimed that an education was what enabled men not to have to live a second hand life.

The lecture will be devoted to explaining the classical model of education as well how to incorporate western concepts of logic and rhetoric within a curriculum.

■「イエス様の再臨と世の終わりについて」(関西&東京会場) ビリポ・ブローマン

その日、その時がいつであるかは、誰も知りませんが、その前兆を知ることができます。聖書に書いてあることだけを信じましょう。

■「子どもをしつけるための心得」(関西&東京会場) ビリポ・ブローマン

子どもが悪いことをする時（親に逆らう、嘘をつく、人をいじめる、物を盗むなど）、子どもを愛する親は、我が子を救うためにどのようにすれば良いのでしょうか。聖書の教えるしつけの大切なポイントについて、分かち合います。セッションの中で、「子どもをどのようにスパンクするか」お話ししたいと思います。

■「イエス様からいただいた良い仕事」(東京会場) ビリポ・ブローマン

罪の赦しと永遠の命は、キリストを信じる人に価値無しに与えられる、神様からの贈り物です。それで私たちは天国に入る日まで、この地上にいる間、何をすべきでしょうか。

■「一日10分の運動から始めてみよう」(東京会場) 藤井 一朗

ゴールデンエイジとは？ コンディショニングとは？ トレーニングと練習の違いは？ 水分の摂り

方は？ 有酸素運動、無酸素運動とは？ 正しいダイエットは？

信仰と登山、クリスチャンアスリートの為の出版物の紹介等、盛り沢山の内容でお話します。

■「子どもを自立した信仰へ導くために」(関西&東京会場) 藤田 桂子

救いへの導き、救いの確信を与るために、献身へ導くこと、毎日の生活の中で、どのように子どもを自立させるのか、また、どのように子どもの信仰を潰してしまう可能性があるのかを考えます。

■「聖書的性教育を子どもに教えるために」(東京会場) 藤田 桂子

親として、どのように性教育を教えるのか、心の準備、異性の子どもに教えるために、意識の問題を夫婦と教会で考える。

■「我が家のホームスクーリング」(東京会場) 藤本 博樹&由美

ホームスクーリングを始めて9年目。長男峻多(13)、長女真利花(10)、次女心恵(6)、三女愛実(4)、そして去年天に召された四女多真恵(5ヶ月)、子供達を導きつつ過ごしてきた、現在までの歩みと、愛実の食物アレルギー、多真恵の召天という試練の中での自分の葛藤、神様の助け、導きなどをお話ししたいと思います。

■「理科が苦手なママでもできる！」(東京会場) 藤原 樹里&佐野 結子

ホームスクールで一番、悩んだのが『理科をどうやって教えるか…』でした。でも、大丈夫。誰でも、自分なりの、理科に親しめる入り口があるはずです。私なりに見つけた、子どもといっしょに学ぶ理科をお分かちしたいと思います。強力な助っ人、佐野結子さん(元小学校理科補助教員)から、お家でできる理科実験や観察の提案もあります。

■「親子対談「小学生から中学生に」(父vs娘)(関西&東京会場) 堀井 順(父) × 汀(娘)

汀が小学生になると同時にスタートした我が家のは、ホームスクールも7年目に。汀の視点でも、この6年間を振り返り、父と娘で我が家のは、ホームスクールについて本音で話し合います。どんな話になるかは、その時のお楽しみ。

翼(高3)大学受験に向け猛勉強中。勇士(高1)ドリーム・カナダを通して短期留学中。汀(中1)感動の小学校卒業式、そして中学生に。大使(5)いよいよ勉強開始、グレープシードも楽しみながら。そして陽(1)は、なんでも興味津々「ビデオデッキにおもちゃいれるな!!」。

■「チア・サポート・スクール(CSS)の新たなる展開」(関西&東京会場) 堀井 順

CSSも3年目をむかえ、次のステップに向け準備をしています。通学クラスは、今までの時間の枠を外し、月曜日から金曜日までのサポート、発表会、

遠足、見学会なども企画しています。

オンライン英会話クラスは、GrapeSEEDを教材として使い、英語が母語のように話せるように質の高いレッスンを提供します。

通信クラスは、学習面全般のカウンセリング、また定期的な各教科のサポート、高卒認定、資格試験、大学受験など次のステップに向けての強化サポートを行います。

当日は、CSS生の発表、各クラスの詳細について、また質疑応答の時間を持ちます。

■「自立への後押し」(東京会場) 堀井 洋二

チア・サポート・スクール (CSS) が始まって、2年が経過しました。次男の伊左久 (22)、長女の瑠都 (20) がアシスタントとして子どもたちの勉強を教え、次女の帆南 (16) が現役の生徒として勉強してきました。今年になって、それぞれが、また次のステップに踏み出そうとしています。CSSを通して、子どもたちや親御さんたちとかかわる機会が増えられ、多少の糾余曲折はあっても、いつの間にか脱皮し、成長していく子供たちの姿を見ることは、わくわくする経験でした。私たちのホームスクーリングに関しては、子供たちがティーンの後半から20代になり、「育てる」という感覚から、「自立を後押しする」という感覚に変わりつつあります。暗中模索で始めた最初の一歩から、わずか5年の間に、子どもたちも、親も、親子の関係も、こんなにも変わるものだな……という驚きがあります。もちろん良い驚きです。振り返ってみると、確かに苦労や失敗、葛藤も多くありましたが、子供たちの変化を見た時に、「あの時の選択（ホームスクーリング）は間違っていたかった」と勇気づけられるのです。ティーンから始めたホームスクーリングの葛藤、子どもたちの変化、CSSを通して経験してきたことなど、特に「自立」をテーマにお分かちできればと思います。

■「何でも質問ください！－私の受けた教育、私が授けたい教育」(関西・東京会場)

マタイ&愛子・ブローマン

懲らしめの体験談や、それぞれキャラクターの違う子どもたちを伸ばしていく上で、神さまから示されていること等を踏まえながら、Q&Aの時間を持ちます。

■「ホームスクーリングは素晴らしい。そして、奥が深い…！」(東京会場) 松岡 淳裕&みぎわ

私の体格を超えるまでに成長した長男 (15)、それなりに男らしくなって来た次男 (13)。そして、10年前にフラッシュバックしたように、子育てに精を出させられている、三男 (2)、四男 (0)。これからも、先が長いホームスクーリング。何かと、トピックが絶えない我が家…。悩める父親であり、夫であり、(同居の母にとっては)息子である、ホームスクーリングパパの現況報告をさせて頂きます。<淳裕>

【15才、長男】自身、ボランティア以前、ボランティア以後と語るくらい、内面的成长をさせてもらつ

たチアの震災復興支援。チアスタッフから受けた影響、活動、奉仕。学校でのいじめ、体罰等々の問題が取り沙汰される昨今、学校は開かれた社会なのか、はたまた閉ざされた社会なのか？ 昨年、本人が希望し5回の実力テストを学校に行って受けてみた。義務教育を終えて振り返るHS 9年間の悲喜交々。

【13才、次男】兄を見て学び、より良い選択を心がけようと努める。しかし何でも「初め」を経験し、時に失敗も、親の未熟な指導も一番に味わわなければならぬ長子に対する尊敬も忘れてはいけない。今春から中学生。彼の今の取り組みを紹介。

【2才、三男。0才、四男】10年ぶりの2才違いの息子たち。この2人は生まれる前からHS。妻として母として、HSを通してでなければ開かれなかつた恵みの数々を再確認中。中でも、子どもを懲らしめることと、妻は夫に従うこと、この2つは私に真に幸いな子どもとは、妻とは、教えてくれた宝といえる。

年の離れた子どもたち、ノンクリ義母との同居あれこれ、我が家のHSが何かの参考になれば幸いです。<みぎわ>

■「スクールの10年を振り返る」(東京会場)

松木 充

シャローム・インターナショナル・クリスチャンスクールは、この9月に創立十周年を迎えます。そこで、十年間の数々の祝福、直面した課題と対処、成功、失敗、将来へのヴィジョンなどをお分かちしたいと思います。さまざまなことがありました。小さなスクールをここまで続けてこられたのは、ただ主の恵みとあわれみです。私たちの10年間の歩みの証しが、主の教育をめざす方々への何らかの励ましとなれば幸いです。

■「そろそろ子離れ？」(関西会場) 松本 明

長女、次女と家を離れ、気付けば末っ子の長男も、支援学校の三年生……と、難しい話は抜きで、ざっくばらんに皆さんの本音トークが聞けたらなーと思っています。

■「新しい英語カリキュラムGrapeSEED 母語的な習得方法で」(関西&東京会場)

毛利 康夫&ジョーダン・ノガキ

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これがGrapeSEEDの基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEEDを構成する重要なコンポーネンツをわかりやすく説明します。このセミナーに参加されると、GrapeSEEDを始める条件の「導入セミナーの受講」を修了したことになります。

■「GrapeSEED for Children of English Native Speakers」(関西&東京会場)

Yasuo Mouri, & Jordan Nogaki

Though most English speaking parents living in Japan

would like for their children to truly master English, many have struggled and even failed at this task. The GrapeSEED curriculum is a powerful tool to assist your child in developing their full range of English skills. In this session you can learn about the GrapeSEED curriculum, why and how it was developed and how it can help your children. Also, results from a study done on native speaker children in America will be introduced to show how GrapeSEED is beneficial for children of native speakers as well as English as a Second Language users. (※この分科会は英語による講演になります)

■「ネパール宣教の旅とアウトドア」(東京会場)

森脇 弘隆

昨年11月に2週間ほど、中1の息子とウィックリフ聖書翻訳協会の鳥羽宣教師を訪ねてネパールの辺境地カリン村に行きました。カトマンズからセスナでエベレストのふもとに飛び、そこから山中を2日間歩いて、やっと現地へ。鳥羽宣教師はネパール在住45年。命がけで聖書翻訳をして、40年目にしてカリン村の旧新約聖書ができました。当時は、村にクリスチャンはゼロでしたが、今では人口2万のうちクリスチャンは1500人以上。教会も11できました。かの地で、迫害にもめげずに信仰を貫き通し、人々に仕え続けて、最後には信頼を勝ち得た最初の信仰者たちの姿を通して、「主に在る骨太人生」(ローマ5：3－5)の醍醐味を実体験しました。また、息子とは4歳からアウトドアを始め、春から秋は登山、冬はスキー（シーズンに20回以上）を楽しんでいます。小3からは、テント泊をスタートし、小5で槍ヶ岳（標高4位）縦走、小6で奥穂高岳（標高3位）、中1で北岳（標高2位）を登りました。私と息子のビジョンは、日本の山、標高ベスト・テンを登り、山頂で神様を賛美して祈りを捧げることです。残りもあと3山。息子と一緒にテントをかつぎながら、大切な伝えたいことを話しています。時には雨や嵐もあり、2人で歯を食いしばることがあります、全てが良き学習となります。今回のネパール宣教でも、毎日6時間以上山中を歩きましたが、このアウトドアの経験が生かされました。今回は、ネパール宣教報告と子どもとのアウトドアの楽しみ方を話します。

■「7つの祝福と7つの落とし穴～チャーチ＆ホームスクール8年目～」(関西会場)

山川 哲平&真紀子

チアと出会い、ホームスクールベースの、チャーチ＆ホームスクール（Jミッションインターナショナルスクール）に導かれて8年目。昨年、10月1日に、第7子で次男礼君（れい）誕生。現在は、7人の子供達（咲良、心、臨歌、夢、契、美波、礼）と、合計5家族中心で英語中心のC&Hをしています。形にとらわれないで、聖霊に導かれるままにスクーリングを進めています。実体験を踏まえて、「チャーチ＆ホームスクールで祝福される7のこと」や、

「チャーチ＆ホームスクールの7つの落とし穴」を分かち合いたいと思います。

「チャーチ＆ホームスクールの7つの祝福」

- 1 子供達と共に時間を過ごすことができる。「トウギャザー ライフ」
- 2 マイペースで勉強できる。「競争から、共存へ」「マイペース ライフ」
- 3 祈り、御言葉、賛美中心の生活。「ホーリーライフ」
- 4 いつでも旅行ができる。奉仕と共に。「ワークライフ」
- 5 家族・兄弟が助け合うことができる。「ファミリー ライフ」
- 6 宣教のために備える生活ができる。神の英才教育「ミッション ライフ」
- 7 イエス様が共にいて、いつも備えて下さる。「ジーザス ライフ」

「チャーチ＆ホームスクールの7つの落とし穴」

- 1 ホームスクールさえすれば安心と思う時！
- 2 何のためのホームスクールか忘れる時！
- 3 ホームスクールより大切なものを見失う時！
- 4 見た目の実を見ることに焦る時！
- 5 マンネリに陥る時！
- 6 人や、他のチャーチスクールの生徒と比べたりする時！
- 7 ホームスクーリングができないと思う時！親失格と思う時！

■「ホームスクーリングの刈り取りから教えられた種まき」(東京会場)

吉村 忠敏

私の母はよく私にこう言いました。「教育に魔法はないのよ。それはただ大変な仕事であって、それ以外ではないわ」。これまで何度も聞いて知っていたつもりでしたが、このザン・タイラーさんの著書にある言葉に今ほど深く共感させられることはありません。なかなか親が思い描いたようにはならず、予想していなかった困難もありました。「人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります」。私たちは子どもたちにどんな種をまいて来たのか、反省させられるばかりです。そんな中でも神様の変わらない真実と愛を悟らされて感謝しかありません。「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました」。セッションでは、どんな点が失敗したと思っているか、どんな種をまくべきだったか、他山の石にしてもらえばと思い、支障なき範囲で分かち合えればと思います。

また、この1月に3週間、タイ、インド、ネパールを訪問し、日本を離れて40年以上福音を伝えて来た人々と交わり、もう一度、人生の目的、ホームスクーリングの目的を確認させられる思いをしました。現地の伝道の様子を紹介しながら、そこで示されたことも分かち合えればと思います。

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

子育ては終わっているが、貴団体のお働きに賛同するとともに、ホームスクーリングおよび家庭での聖書教育の価値と重要性について理解を深め、若い兄弟姉妹方に紹介したい。また、教会学校に携わっている兄姉たちの指導の参考にしてもらいたい。(Aさん)

●ニュースレターと、チアマガジン届きました。いつも本当にありがとうございます。今回、素敵なお本が入っていたのでびっくりしました。読んでみたら、本当にわかりやすく、挿絵もいいですね。ぜひ、聖書の学びや、伝道などに使わせて頂きたいと思いますので、50冊お願ひします！(神奈川 中山弘子)

●いつもありがとうございます。「聖書がわかる28の素敵なお話」。読ませていただき、是非、多くの方に読んでいただきたいと思いました。お手数お掛けしますが、50冊おねがいします。どなたにお渡しするか、一つずつ祈って決めていきます。大切な宝物ですから。どうぞ、よろしくお願ひいたします。(Bさん)

●素敵なお本をありがとうございました。伝道に用いさせて頂きます。チアの働きが、祝されるようにお祈りしています。(Cさん)

●主の御名をほめたたえます。「聖書がわかる28の素敵なお話」50冊お願ひいたします。伝道・CSに使わせていただきます。(Dさん)

●今回はすてきなお話の本までついて、本当にありがとうございました。(Eさん)

マガジンとニュースレターをいつも楽しみにしておりますが、今回も、一言では表現できないほど励され、学ばせていただきました。一読しましたが、すでに付箋、赤線だらけです。私は昨夜、神様にとても感謝しました。尊いお働きの上に神様の特別なご配慮があり、皆様の上にお守りがありますように。(Fさん)

ポール・ブローマンさんのレポート、読ませていただきました。本当に素晴らしい信仰の人で、敬愛してやまない人でした。(Gさん)

昨日、ギリギリになりましたが^ ^ ;、「やっぱり出してみる…！」と子どもたちが言ったので宅急便で掛け軸を送りました。最初、あまり乗り気でなかった娘たちが自分で練習して取り組み、掛け軸にしました。出来上がりはイマイチ…だったのですが、それまでのプロセスで頑張れた面に感謝しています。このような機会を与えて下さってありがとうございました！(Hさん)

スタッフの皆さん一同、きっとご準備などでお忙しい毎日を過ごされているのではないでしょうか。いつもありがとうございます。

さて、今年は初めて、長男が絵画コンクールに応募しました。今年から近くの工作・絵画教室に通い出しましたので、やる気が出てきたようです。(Iさん)

この度は、コンベンション準備でご多忙の中、小冊子を送って下さり、本当にありがとうございます。南三陸町の仮設住宅を回り、無事、皆様にお渡ししてくことができました。子供達と一緒にクッキーを作り、100袋足らずのパッケージを作って、1軒ずつ回ったのですが、どのお宅も温かく受け取ってくださり、本当に感謝でした。約一日かけて、持っていたすべてをお渡しできました。子供も一緒に喜んで下さった方が多く、ご自分で育てられたというわかめやのりや野菜、煮たばかりのひじき、缶ジュースにお菓子など……色々なお返しをくださって、まとめてみたら、山が一つできるほどでした。食べてみたひじきやわかめは、今まで食べていたものとは別物としか思えないほど、立派でおいしかったです。

一軒一軒の方々とお話をすると、被害に遭われたのは、こんなに純朴で心優しい方々だったのだと、改めて胸が打たれる思いでした。津波で長男を亡くされた方、ご主人の遺体がまだ見つからない方など、お話を聞いて涙が出てきました。「でもね、後ろを振り返らないでね、前を見て行こうと思ってるの。海もきれいになってきて、仕事もあるしね。作ったわかめなのよ、持っていって」とお話しくださいました方もあり、それは聖書にある言葉と同じ、とその場では（話の腰を折るようで）言えなかったのですけれど、この出会いを大切に、救いを祈り、復興を応援していくという想いになりました。

海も山も本当にきれいで、(随分片付いてきたそうです) その自然と共に生きておられる南三陸の方々のことが大好きになりました。

家族でこのような一日を過ごせ、感謝と平安で心満たされ、私の方が、励されたような気がしました。「聖書がわかる28の素敵なお話」をありがとうございました。(東京 伊澤恵美)

『聖書がわかる28の素敵なお話』 無料プレゼント！

**[1家族・教会 各50冊まで無料です！（郵送手数料はご負担ください）
数に限りありますのでお早めに！]**

アメリカのTGSインターナショナルの皆さんからの支援で、『聖書がわかる28の素敵なお話』が日本聖書配布協力会より刊行され、この度、チア・にっぽんメンバーの皆さんにも、無料でプレゼントされることになりました。聖書そのものともいえる、とても素晴らしい作品です。今回、1家族・1教会／団体、50冊まで、無料で送らせていただきます（送料＆手数料800円のご負担お願いします。数に限りがありますので、お早めに！）

TGSインターナショナルの皆さんは、東日本大震災の支援で、日本聖書配布協力会の皆さんの支援活動に共鳴し、義捐金をサポートしつつ、支援活動を送っていました。その後、日本での伝道展開への一助として、コンサイスバイブルの印刷・無料配布等の支援を行い、さらに、『聖書がわかる28の素敵なお話』の印刷・無料プレゼントへと支援の輪が拡がっていきました。

このプロジェクトには、チア・にっぽんにも声がかけられ、翻訳、編集・校正の依頼をいただきました。実際に作品を読んでみると、聖書そのものという感じで、伝道のためにも、あるいは、お子さんたちと一緒に読んでいくためにもとても良き本であると思い、引き受けさせていただきました。

翻訳は、『ナザレのイエスは神の子か』（リー・ストローベル）シリーズ等で素晴らしい訳をされている峰岸麻子さんが主に担当してくれました。私たちも編集させていただきながら、本書の聖書のみことばやストーリーに何度も励まされました。

対象年令は、小学校中・高学年から中学生と zwar いますが、それより低年齢の子どもたちでも十分、対応できるようにフリガナもあり、また、大人でも、深く心に染み入り、励まされる作品です。伝道用や、信仰の成長のためにも最適です。

この機会をぜひご利用くださったると、心から推薦させていただきます。TGSインターナショナル、そして、日本聖書配布協力会の皆さんに心から感謝しつつ、日本での聖書に立った靈的なムーブメントが一層、祝福されていきますように、心から祈ります。

『聖書がわかる28の素敵なお話』を通しての皆さんへの祝福を心から祈っています。

チア・にっぽん 稲葉 寛夫

《 オーダーシート 》
→FAX 03-6862-8648
→メール office@cheajapan.com

■希望冊数（上限50冊まで） () 冊

■お名前 ()

■ご住所 (〒)

■TEL ()



<全面広告>



SCHOLARS
ACADEMY

Introducing Veritas Press Scholars Academy to CHEA Japan ベリタスプレススクラーズアカデミーへようこそ！

Veritas Press is pleased to introduce to Japan its award-winning, fully accredited, live on-line school at the Tokyo venue of the CHEA Japan Conference May 31-June 1.

5月31日-6月1日東京で開催されるチアジャパンコンベンションにて、米国及び世界各国のホームスクール界で高い評価を受けている認定オンラインスクール、ベリタスプレスをご紹介いたします。

Veritas Press has served classical Christian homeschools and schools in the USA and worldwide for 18 years with excellent curriculum and teaching aids for grades K-12. Our online Scholars Academy is now in its seventh year of helping families provide a rigorous, engaging education for their children from grades 3-12. Graduates score far above public and private school students on standardized tests, and gain admission to top universities like Yale, Princeton, Baylor, Hillsdale, Samford, Liberty and others. More importantly, The Veritas Press Scholars Academy prepares students to thrive and to make a Kingdom difference in the new “global village.”

ベリタスプレスはクラシカルクリスチヤンホームスクール、及びオンラインスクールとして、過去18年間幼稚園～高校3年生まで独自のカリキュラム、教材をグローバルに提供して参りました。オンラインスクールは今年で7年目を迎え、小学3年生から高校3年生までのカリキュラムで、ご家庭での教育に情熱を注がれるホームスクールファミリーをサポートしています。卒業生の成績は公立や私立の平均よりもかなり高く、米国内においてはエール、プリンストン、ペイラー、ヒルズデール、サンフォード、リバティー等のトップレベルの大学進学を果たしています。しかし何よりもベリタスが目指すのは、生徒がこれから新しい「グローバル」な世界で、神の国を建て上げ、その賜物を生かしていくことです。

Our mission is to Reclaim Our Culture for Christ . . . One Young Heart and Mind at a Time

私たちの使命、それはキリストのための文化を建て上げること…子ども達の心の成長に向き合いながら

You can choose to take one course or as many as you wish from an extensive list of online classes. The “Diploma Program” allows our student to get an accredited high school diploma. Classes are recorded so students can review anything they missed or that needs reinforcement. You can also choose from our growing list of interactive, engaging, self-paced courses.

オンラインスクールは多種多様なクラスから選べる形式で、1クラスからでも選択可能です。「ディプロマプログラム」は高校卒業認定を得られます。クラスは予め録画済みですので復習に大変便利です。また教師とコミュニケーションを図りながら自分のペースですすめられる「セルフベースコース」もあります。



ベリタスプレスについて詳しくは以下のウェブサイトをご覧下さい

Learn more about Veritas Press Scholars Academy at www.VPress.us/SA

Visit our exhibit in the Olympic Center lobby at the CHEA Conference, and plan to attend our workshop on Saturday:
Classical Christian Education: Teaching Children the Way God Designed Them to Learn

チアコンベンション会場ロビーでのベリタスプレスのブース、また土曜日に開かれる分科会(ワークショップ)「クラシカルクリスチヤン教育:神がデザインしたように子どもたちを教え育む」に是非お越し下さい。

(チア・にっぽん カレンダー)

- チア・コンベンション2013
関西 5月23日（木）～24日（金）
東京 5月31日（金）～6月1日（土）
- チア・サマー・キャンプ2013（予定）
8月8日（木）～10日（土）
◆仙台明泉学園（宮城）
- 第3回チア・オリンピック（予定）
10月初旬予定
◆台東リバーサイドスポーツセンター（東京）
- 白馬セミナー2013
11月21日（木）～23日（土）
◆ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）

メモリアル会で配布されたポール・ブローマンさんの思い出の小冊子を無料配布しています。
ご希望の方は、FAX（03-6862-8648）、またはメール（office@cheajapan.com）でチア・にっぽん事務局までご連絡ください。

4月会計	
収入	
献金	1,098,300
書籍・教科書	332,774
会費	149,000
広告	647,617
DVD/CD、ビデオ等	150,240
その他	159,633
	2,537,564
支出	
事務局経費	1,111,692
通信運搬費	142,040
交通費	15,040
印刷費	1,052,405
DVD仕入れ費	317,325
	2,638,502
残高	-100,938
前期繰越	308,298
翌期繰越	207,360

☆尊い献金、会費の送金を、心から感謝いたします。

モンゴル日本語教師募集！

グレープシティ(株) モンゴル事業所

経験・教師免許・英語等、不要です。国語教科書とドリルを用い、日本語で教えます。

20～58才の女性希望（ビザの関係で58才以下を希望ですが、相談可能です。面接あり）。

期間：1年～2年（延長可） 2013年6月、もしくは8月から勤務希望（相談可）

生徒：4名のチャーチスクール（宮城明泉学園・啓明小の姉妹校：4～8才の2クラス。他に、韓国人伝道者向けクラス等あり）

勤務時間：月～金 各7～8時間
給与、往復飛行機代、住居、医療費提供（寮の食事あり。自炊も可）。1年勤務後、ボーナス、休暇等あり。

連絡先：チア・にっぽん事務局まで、お気軽に連絡ください。

医療法人社団
マリヤ・クリニック
内科・小児科

〒263-0043
千葉市稲毛区小仲台6-19-19 Myビル
Tel:(043)287-2624 Fax:(043)287-2610
<http://mariyaclinic.com/>

柏崎良子院長著
低血糖症と精神疾患治療の手引
第4版販売中
問い合わせ：株式会社ヨーゼフ

株式会社 **ヨーゼフ**

柏崎良子・柏崎久雄共著
神のデザインによる医療
絶賛販売中

問い合わせ：株式会社ヨーゼフ
Tel:(043)207-6035
Fax:(043)207-6036
メール：info@yozeph.com
<http://yozeph.com>



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103
TEL 042-318-1807 メール対応FAX 03-6862-8648
メール office@cheajapan.com
www.cheajapan.com